

ひろぎん証券のKPI

～お客さま本位の業務運営に関する取組状況のご報告(2018年度)～

お客さまの最善の利益の追求

- ・お客さまの視点に立った販売姿勢
- ・付加価値の高い商品/サービスの提供

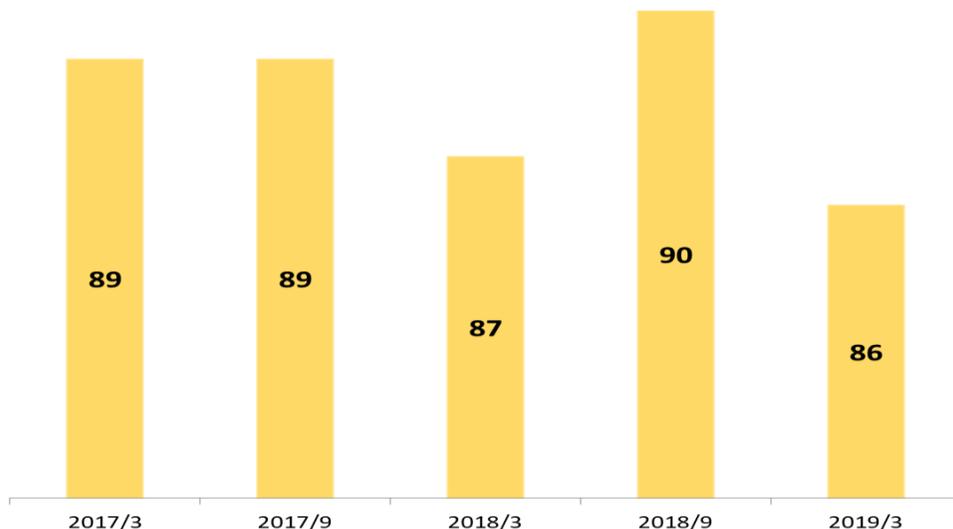
高度な専門性を有する人材の育成

1. FP資格保有者数

FP資格保有者についてはほぼ横ばいに推移しているものの、通信講座の提供やセミナー等の斡旋により、FP資格保有者の増加につなげ、お客さまの多様かつ高度化する資産運用ニーズに対し、高度な専門性の保持に努めてまいります。

FP資格保有者数

(単位:人)



投資教育の充実

2. お客さまセミナー開催件数

お客さまの関心の高いテーマや制度の変更など情報のご提供が必要だと思われるテーマを選定し、タイムリーにセミナーを開催しております。多くのお客さまにご参加いただき、ご好評をいただいております。

セミナーの種類	2017年度		2018上期		2018下期		2018年度	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
株式、経済見通し等	116	1,773	38	656	40	677	78	1,333
投信	156	1,088	57	376	44	224	101	600
保険	0	0	2	9	1	16	3	25
相続	3	37	3	54	2	34	5	88
IR	32	1,958	11	466	8	570	19	1,036
税制	1	7	1	31	0	0	1	31
NISA	40	235	39	254	18	102	57	356
その他	8	123	2	16	0	0	2	16
合計	356	5,221	153	1,862	113	1,623	266	3,485

ひろぎん証券のKPI

～お客さま本位の業務運営に関する取組状況のご報告(2018年度)～

お客さまの最善の利益の追求

- ・お客さまの視点に立った販売姿勢
- ・付加価値の高い商品/サービスの提供

お客さまの資産形成に資するポートフォリオ提案の実践

3. 投信販売額上位商品

多様なお客さまニーズにお応えし、各種資産クラスにバランスよく分散して販売しております。

4. 毎月分配型投信以外の販売比率

再投資の有効性やメリットを理解していただける商品のご提供、販売活動を継続した結果、毎月分配型投信以外の販売比率は高位に推移しております。

2017年度(2017年4月～2018年3月)

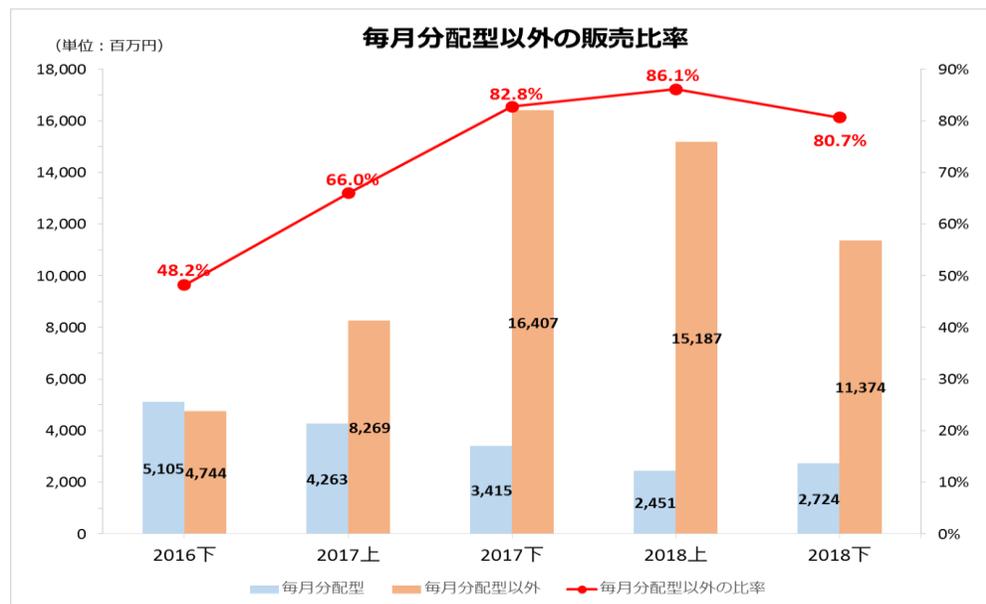
No.	銘柄名	販売額比率
1	ひふみプラス	18.3%
2	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9.5%
3	高成長インド・中型株式ファンド	6.8%
4	米国小型株ソインα(毎月分配型)	6.0%
5	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	5.9%
6	グローバルAIファンド	5.3%
7	ベトナム株ファンド	5.1%
8	グローバルロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	4.9%
9	ニッポン中小型株ファンド	4.6%
10	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	2.1%

・公社債型投信・外国投信・プロ私募は除く
・網掛けは毎月分配型投信

2018年度(2018年4月～2019年3月)

No.	銘柄名	販売額比率
1	ひふみプラス	20.1%
2	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	18.0%
3	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	5.5%
4	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	3.9%
5	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	3.7%
6	深センイノベーション株式ファンド(1年決算型)	3.4%
7	米国小型株ソインα(毎月分配型)	3.4%
8	グローバルAIファンド	3.0%
9	ベトナム株式ファンド	2.6%
10	SBI 日本株3.7ブル	2.3%

・公社債型投信・外国投信・プロ私募は除く
・網掛けは毎月分配型投信



ひろぎん証券のKPI

～お客さま本位の業務運営に関する取組状況のご報告(2018年度)～

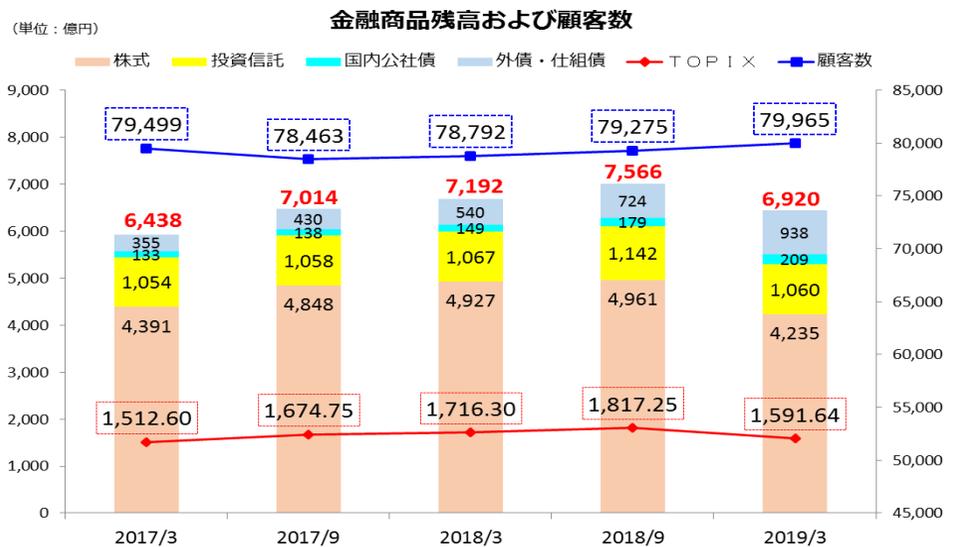
取組みの結果として当社の中長期的な企業価値の増大

顧客基盤の拡充

・お客さまの裾野拡大 ・残高の増加

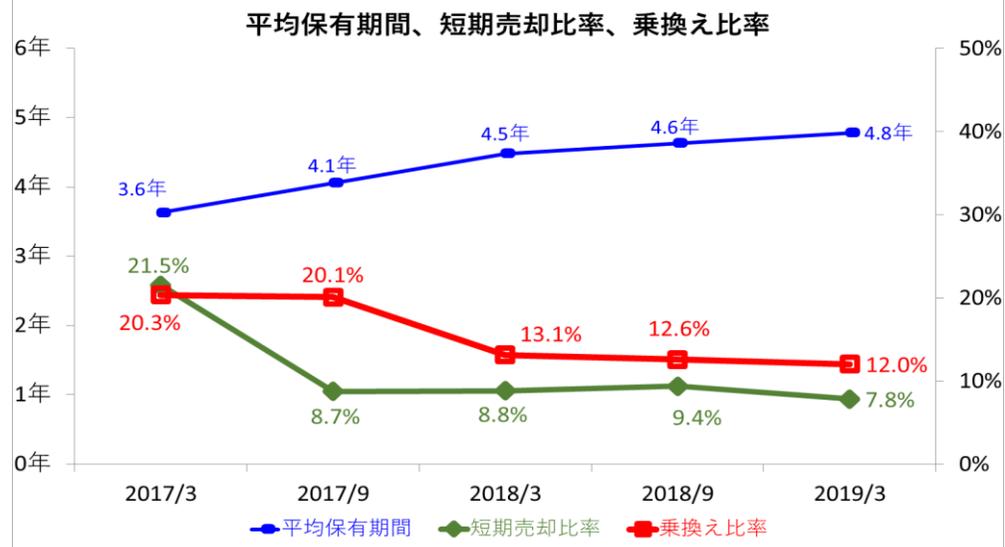
5. 金融商品保有者数・残高

金融商品を保有いただいているお客さまは、ひろぎんグループとしてアライアンスを強化した結果、着実に増加しております。株価下落に伴い、お預りの金融商品残高は減少しておりますが、今後もより多くのお客さまにご利用いただけるよう努力してまいります。



6. 投信平均保有年数

平均保有年数は着実に長期化しており、短期売買比率も低下傾向にあります。引き続き、長期投資の有効性をご理解いただき、お客さまの資産形成にお役にたてる営業活動を実行してまいります。



ひろぎん証券のKPI

～お客さま本位の業務運営に関する取組状況のご報告(2018年度)～

取組みの結果として当社の 中長期的な企業価値の増大

顧客基盤の拡充

・お客さまの裾野拡大 ・残高の増加

7. 商品種類別投資信託ラインナップ

資産分散の観点から国内・海外資産複合型投信を増やし、中長期的に成長が期待できる海外株式を中心に導入いたしました。今後もお客さまのニーズにお応えできるようラインナップの充実を図ってまいります。

投信共通KPI

2018年3月末基準、**2019年3月末基準**の3指標について公表いたします。

<各指標の定義>

①運用損益別顧客比率(以下の分子、分母に算出した比率)

分子… 基準日時点の評価金額+累計受取分配金(税引後)+累計売付金額-累計買付金額(含む消費税込の販売手数料)
分母… 基準日時点の評価金額

②投資信託預り残高上位20銘柄リスク・リターン

リスク… 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

リターン… 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

③投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

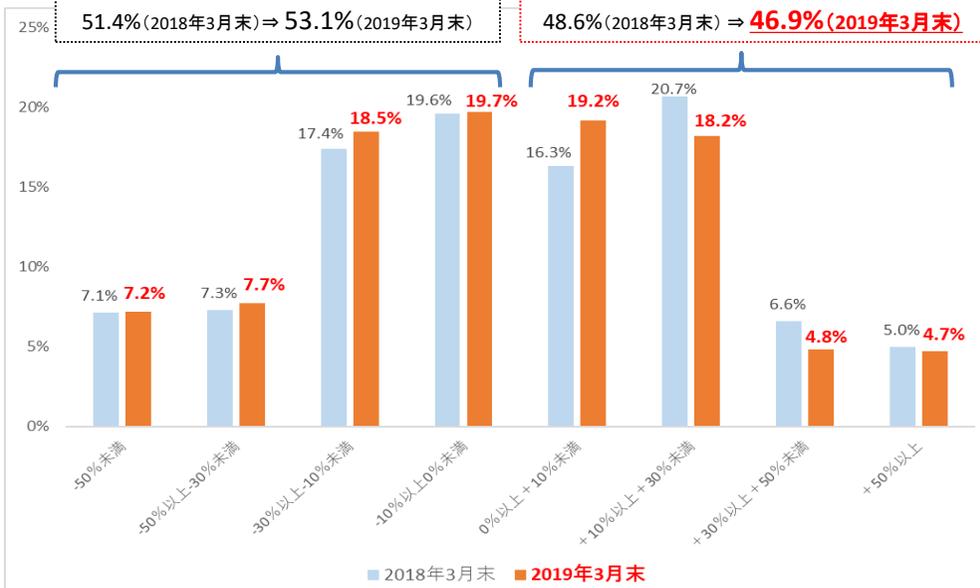
コスト… 基準日時点の販売手数料率(消費税込み)の1/5と信託報酬率(同左)の合計値

リターン… 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

運用損益別顧客比率

2019年3月末時点では投資信託を保有されているお客さまの運用損益(評価損益)は**46.9%がプラス**となっております。

カテゴリー	2017/3		2017/9		2018/3		2018/9 ①		2019/3 ②		②-①
	数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	構成比	数	構成比	
国内株式	72	30.3%	71	28.7%	70	28.0%	74	27.3%	71	25.7%	▲3
国内債券	8	3.4%	8	3.2%	6	2.4%	6	2.2%	6	2.2%	0
国内不動産投信	3	1.3%	3	1.2%	4	1.6%	4	1.5%	4	1.5%	0
国内資産複合	1	0.4%	3	1.2%	2	0.8%	2	0.7%	2	0.7%	0
内外株式	21	8.8%	22	8.9%	21	8.4%	26	9.6%	27	9.8%	1
内外債券	5	2.1%	5	2.0%	6	2.4%	6	2.2%	6	2.2%	0
内外不動産投信	4	1.7%	4	1.6%	4	1.6%	4	1.5%	4	1.5%	0
内外その他資産	1	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	1	0.4%	0
内外資産複合	23	9.7%	23	9.3%	24	9.6%	30	11.1%	33	12.0%	3
海外株式	44	18.5%	45	18.2%	50	20.0%	53	19.6%	57	20.7%	4
海外債券	35	14.7%	34	13.8%	35	14.0%	38	14.0%	38	13.8%	0
海外不動産投信	10	4.2%	10	4.0%	10	4.0%	10	3.7%	10	3.6%	0
海外その他資産	7	2.9%	8	3.2%	8	3.2%	7	2.6%	7	2.5%	0
海外資産複合	4	1.7%	10	4.0%	9	3.6%	10	3.7%	10	3.6%	0
合計	238	100.0%	247	100.0%	250	100.0%	271	100.0%	276	100.0%	5



ひろぎん証券のKPI

～お客さま本位の業務運営に関する取組状況のご報告(2018年度)～

投信共通KPI

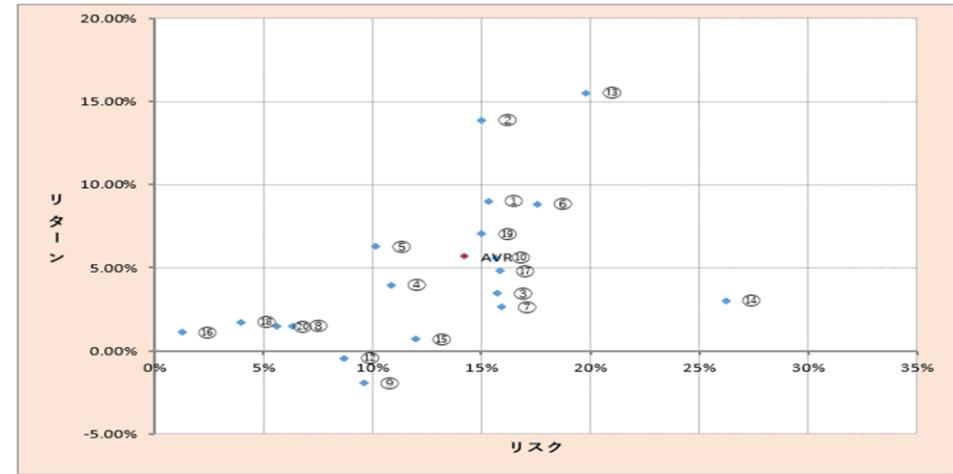
リスク・リターン(2017年度)

残高加重平均値	リスク	リターン
	15.10%	7.11%



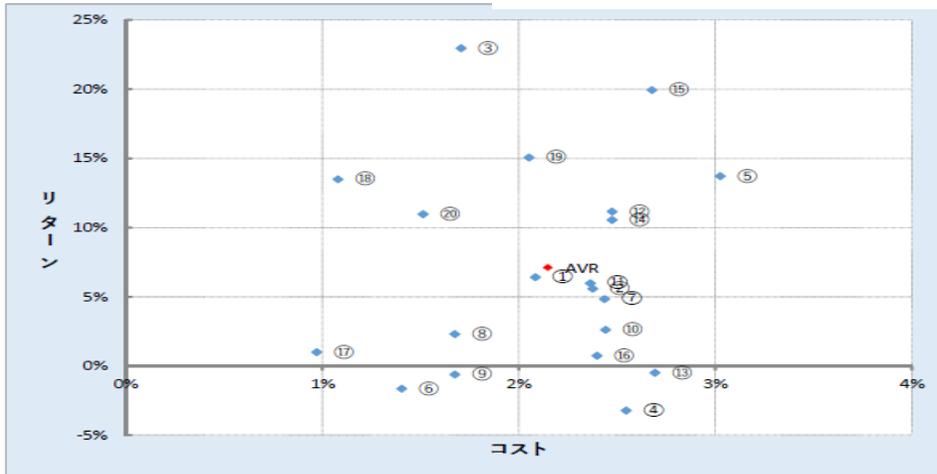
リスク・リターン(2018年度)

残高加重平均値	リスク	リターン
	14.22%	5.69%



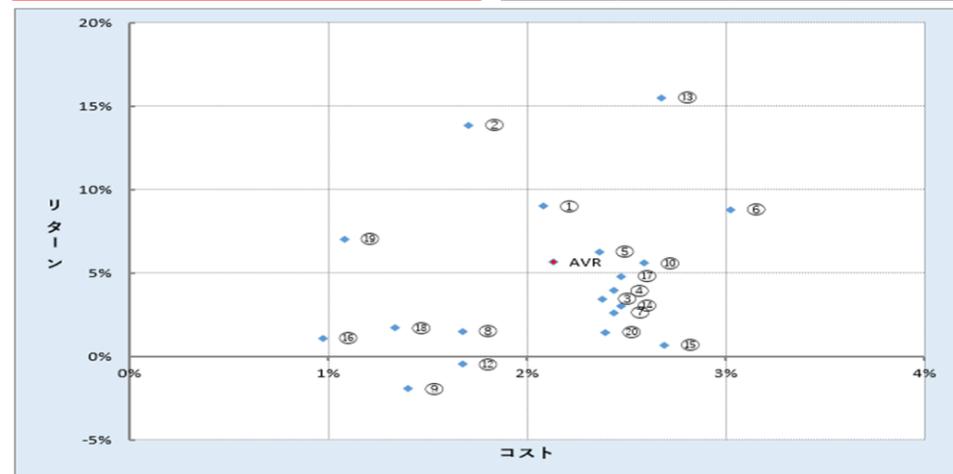
コスト・リターン(2017年度)

残高加重平均値	コスト	リターン
	2.15%	7.11%



コスト・リターン(2018年度)

残高加重平均値	コスト	リターン
	2.13%	5.69%



ひろぎん証券のKPI

～お客さま本位の業務運営に関する取組状況のご報告(2018年度)～

投信共通KPI

残高上位20商品の状況(2017年度)

- リスク・リターンについて、円高や海外の金利上昇を背景に、海外債券に投資する商品を中心に残高上位20銘柄の内、19銘柄がリスクを下回るリターンとなりました。
- コスト・リターンについて、国内外の株式市場の好転もあり、株式に投資する商品を中心に、残高上位20銘柄の内、15銘柄がコストを上回るリターンを獲得しております。

(設定から5年以上経過している商品のみ対象)

No	銘柄	リターン	リスク	コスト
①	新光 US-REIT オープン[ゼウス]	6.41%	15.12%	2.08%
②	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	5.58%	15.66%	2.38%
③	ひふみプラス	22.96%	14.03%	1.71%
④	資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース	-3.22%	29.99%	2.55%
⑤	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド[健次]	13.71%	16.85%	3.02%
⑥	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	-1.64%	10.31%	1.40%
⑦	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	4.84%	11.70%	2.44%
⑧	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	2.31%	7.59%	1.67%
⑨	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)[杏の実]	-0.63%	9.83%	1.67%
⑩	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)[ラッキー・カントリー]	2.61%	16.74%	2.44%
⑪	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	5.97%	14.32%	2.36%
⑫	日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	11.16%	26.24%	2.48%
⑬	豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)	-0.49%	12.05%	2.69%
⑭	日本株厳選ファンド・円コース	10.55%	16.26%	2.48%
⑮	高成長インド・中型株式ファンド	19.94%	22.94%	2.68%
⑯	野村新興国債券投信Aコース(為替ヘッジあり)(毎月分配型)	0.74%	6.65%	2.40%
⑰	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	1.00%	1.52%	0.97%
⑱	さわかみファンド	13.48%	14.75%	1.08%
⑲	ウツミ屋 日本株ファンド「あゆみ」	15.07%	16.01%	2.05%
⑳	瀬戸内4県ファンド[瀬戸内応援団]	10.97%	18.35%	1.51%

残高上位20商品の状況(2018年度)

- リスク・リターンについては、円高等を背景に、海外に投資する商品を中心に価格変動の大きさを示すリスクが高い状況が続いており、リターンを上回っております。
- コスト・リターンについては、国内外の株式市場の好転もあり、株式に投資する商品を中心に、残高上位20銘柄の内、14銘柄がコストを上回るリターンとなりました。

(設定から5年以上経過している商品のみ対象)

No	銘柄	リターン	リスク	コスト
①	新光 US-REIT オープン[ゼウス]	9.00%	15.30%	2.08%
②	ひふみプラス	13.87%	15.03%	1.71%
③	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	3.46%	15.73%	2.38%
④	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	3.95%	10.85%	2.44%
⑤	野村インド債券ファンド(毎月分配型)	6.26%	10.16%	2.36%
⑥	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド[健次]	8.81%	17.56%	3.02%
⑦	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)[ラッキー・カントリー]	2.63%	15.92%	2.44%
⑧	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.49%	6.34%	1.67%
⑨	短期豪ドル債オープン(毎月分配型)	-1.94%	9.61%	1.40%
⑩	米国小型株ツインα(毎月分配型)	5.60%	15.64%	2.59%
⑪	資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース	-7.22%	30.93%	2.55%
⑫	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)[杏の実]	-0.46%	8.72%	1.67%
⑬	高成長インド・中型株式ファンド	15.51%	19.83%	2.68%
⑭	日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	3.02%	26.21%	2.48%
⑮	豪州高配当株ツインαファンド(毎月分配型)	0.70%	12.00%	2.69%
⑯	ダイワ日本国債ファンド(毎月分配型)	1.11%	1.25%	0.97%
⑰	日本株厳選ファンド・円コース	4.80%	15.84%	2.48%
⑱	日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)円ヘッジあり[ジェイブリッド]	1.71%	3.96%	1.34%
⑲	さわかみファンド	7.03%	15.03%	1.08%
⑳	野村新興国債券投信Aコース(毎月分配型)	1.46%	5.61%	2.40%